

『鉄道が来て千葉の町が大きく変わったお話』

○鉄道が来る前までの千葉市

1872(明治5)年、新橋～横浜間に日本で初めての鉄道が開通しました。それから鉄道は全国に広がり、千葉に来たのは1894(明治27)年です。22年もあとのことで、これは全国的に見てもかなりおそいほうといえます。それには次のような理由がありました。

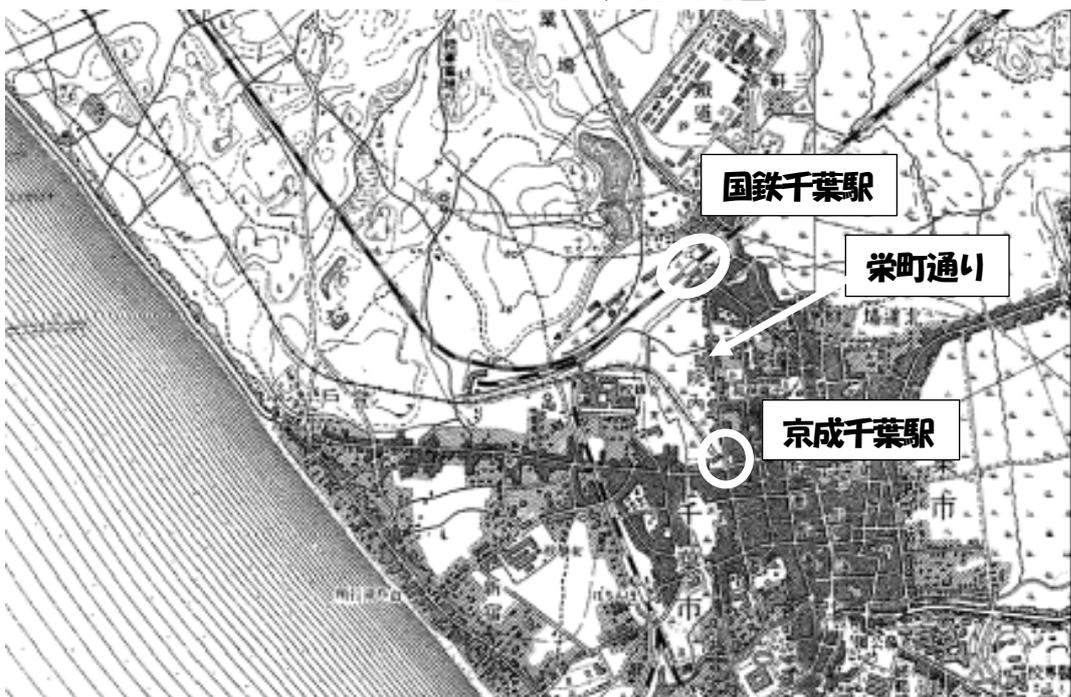
- ① 半島として突き出た地形のために日本の中心となる地域からずれていて、主要な鉄道路線の計画からみれば「行き止まり」のようなところにあたる。東京と他の府県を結ぶラインとはなれているため、人やモノを運ぶルートとしてはあと回しになった。
- ② 三つの方向を海に囲まれて海上交通が発達しており、特に五大力船と呼ばれる船を使った東京湾内の舟運はさかん。江戸川や利根川の河川交通も発達している。また、陸上の道路網もとても発達していたので、他の府県より鉄道の必要性が低いと思われた。

鉄道では少し遅れをとりましたが、とはいっても千葉町は江戸時代からの商業町・港町で、県内各方面から道路が集まる交通の要地でした。明治時代には「県政の中心地」という新しい役割も加わり、さらに1921(大正10)年に市政が始まって「千葉市」となってから、急速に大きく発展を続けてきたのです。

○鉄道が来た頃の千葉市

鉄道の開通は新しい町の発展の始まりとなりました。新設された駅は、物資(モノ)の輸送と乗り降りする客(ヒト)の出入りの中心となりました。駅を中心として道路が発達して、モノとヒトの流れができて、「駅前市街」という新しい街並みができてきました。

<1921(大正10)年ころの地図>



この年の5月には京成電鉄も開通しました。ここで、千葉駅周辺の鉄道の歴史をかんたんに紹介しておきましょう。

- | | | | |
|-------------|---------------|---------------------|-----|
| 1894(明治27)年 | <総武鉄道> | 本所(錦糸町)―市川―船橋―千葉―佐倉 | 開通 |
| 1896(明治29)年 | <房総鉄道> | 千葉―大網 | 開通 |
| 1908(明治41)年 | <国有化された国鉄総武線> | 本所―千葉 | 複線化 |
| 1912(明治45)年 | <国鉄内房線> | 蘇我―姉ヶ崎 | 開通 |
| 1921(大正10)年 | <京成電気軌道> | 船橋―千葉 | 開通 |
- *国鉄はまだ電化されていないので、初めての「電車」!

では地図にもどりましょう。現在とは線路が通る場所も駅の位置も違っていますが、国鉄(今のJR)千葉駅と京成千葉駅の場所を示してみました。

国鉄千葉駅と京成千葉駅を結ぶライン、つまり現在の栄町通りの東側と、京成千葉駅より南側の黒く塗りつぶされているところがいわゆる市街地です。このあたりが商業町・港町であったところからの千葉町・千葉市の中心で、現在の県庁や中央公園の周辺地域になりますね。下の資料はそれを示しています。

<『千葉市案内』(昭和初期)>



文字が小さくてはっきりと読めませんが、県庁・市役所・裁判所などの役所関係、千葉中学校や男子・女子の師範学校や千葉高等女学校などの教育機関、そのほか病院や千葉神社……などがあることがわかります。都市の中心としての機能が集まっているわけです。

その後、駅の移転でどう変わっていくのでしょうか？

○駅前市街が広がった千葉市

まず、駅の移転について説明します。きっかけは昭和20年7月7日の空襲です。大きな被害を受けた千葉市は、国によって「戦災都市」の指定を受けました。被害を受けた地域を中心にして、被害を受けなかった地域も含めてかなり広い範囲で建物や道路の整備を行うことになり、このとき同時に鉄道駅も移転しました。

- *国鉄千葉駅は、現在の市民会館の位置から現在のJR千葉駅へ
- *京成千葉駅は、現在の中央公園の位置から現在の京成千葉中央駅へ
- *国鉄本千葉駅は、現在の京成千葉中央駅の位置から現在のJR本千葉駅へ
- *この移転に合わせて、新しい国鉄(現在のJR)千葉駅から中央公園まで大通りを通す



<現在の千葉駅周辺>



今や千葉のにぎわいの中心はJR千葉駅周辺と言ってまちがいないでしょう。現在も積極的に再開発が進む駅前大通りから中央公園方面はもちろん、そのほかにも西口の周辺やモノレールの市役所前駅、JR京葉線の千葉みなと駅の方まで、広く街並みが続いています。

新しく鉄道の時代がおとずれて、駅を中心とした新しいモノとヒトの流れができて、駅前市街という新しい街並みが出来上がってきたというわけです。鉄道の開通や駅の移転は、千葉市の町の様子を大きく変えた、ということがよくわかりますね。

○最後に伝えておきたいこと

- * 「鉄道の開通は、モノとヒトの流れを大きく変えた」ということは、それまでその役割を担っていた海運、河川交通の要地だった町や港のようす、働いていた人々の生活はどうなったのでしょうか？
- * 「新しく駅前和市街地がにぎわいの中心となった」ということの裏がえしに、古くから中心だった市街が衰退（＝人が少なくなる、にぎわいがなくなる、など）しているということはどう考えますか？

ここから先は、こうしたことに興味を持って「調べてみよう！」という皆さんの研究・学習に期待したいと思います。

私たちの「千葉市」をよく知り、これからの千葉市を考えてくれる皆さんに！！

昭和 10 年 (1935)

